

労働安全総点検集計結果（平成 24 年 8 月 10 日現在）

船橋労働基準監督署

本日までに報告を頂いた 732 事業場に関し、各点検表を集計した結果は、別添 1 のとおりです。

7 月 11 日現在の集計（711 事業場）においては、改善に効果があった事項について、その一部を紹介いたしましたが、この度は、この回答欄に記載のあった全事業場（381 事業場）を対象に集計を行いました（別添 2 「効果があった事項に係る事業場からの回答」）。回答をいただいた内容は、多岐に亘っていることから、キーワード毎に大まかな分類を行いました。

安全衛生管理の重要性・再確認	約 70 事業場
未実施項目、改善項目等の確認	約 50 事業場
トップの方針の必要性等	4 事業場
管理体制の再確認・整備	21 事業場
安全衛生委員会	21 事業場
労使協力等	5 事業場
協議会（元請・下請）	9 事業場
点検・巡視	11 事業場
周知	4 事業場
荷主・運送業者	8 事業場
安全衛生計画	6 事業場
P D C A	1 事業場
リスクアセスメント（R A）	19 事業場
K Y ・ヒヤリハット	8 事業場
合図・指差呼称	3 事業場
安全意識の向上	約 50 事業場
整理整頓・4 S ・ 5 S	14 事業場
危険有害箇所の特定制	12 事業場
墜落防止	12 事業場
転倒防止	1 事業場
巻き込まれ防止	3 事業場
車両管理・運転等	4 事業場
交通労働災害	3 事業場
作業管理・作業改善（マニュアル作成等）	13 事業場
腰痛対策	4 事業場

メンタルヘルス	18 事業場
健康管理	4 事業場
熱中症対策	2 事業場
無災害・災害減少	18 事業場
効果不明	2 事業場

以上のとおり、各事業場では、労働安全総点検運動を活用し、事業場の実態に照らして有効に点検を実施して頂いたことが窺えます。一方で、更に業種毎に詳細な点検表が必要であるというご意見もいただきました。

当署においては、今後とも、各業種・各事業場における有効な安全点検の実施のため、継続的な行政の推進に努めていくこととしております。

本運動にご協力頂いた関係機関及び各事業場の皆様に改めて御礼申し上げますとともに、引き続き、安全衛生管理の積極的推進に御協力を賜りたくお願い申し上げます。

労働安全総点検運動集計結果

各項目の回答状況の詳細については、以下のとおりです。

1 経営トップの指揮による安全衛生管理の総点検の実施

- ①総点検実施の指揮者は 経営トップ自ら：372 安全衛生責任者：254 その他の者：77
 ②経営トップは安全衛生方針を表明しているか はい：643 いいえ：57

2 労働安全衛生関係法令に照らした点検の実施

(1) 安全衛生管理体制、教育、健康管理について

- ①安全管理者、衛生管理者等の各種管理者を選任しているか はい：602 いいえ：98
 ②安全衛生委員会等を設け活動しているか はい：529 いいえ：167
 ③安全衛生管理計画を作成し計画的に安全衛生活動をしているか はい：532 いいえ：163
 ④法的資格が必要な作業に有資格者を配置していますか はい：679 いいえ：19
 ⑤危険有害業務に作業主任者を選任しているか はい：439 いいえ：57
 ⑥雇入れ時、作業内容変更時等に安全衛生教育を実施しているか はい：656 いいえ：38
 ⑦危険有害業務従事者に安全衛生教育を実施しているか はい：433 いいえ：54
 ⑧健康診断を実施しているか はい：716 いいえ：12
 ⑨健康診断の結果、異常所見者等に保健指導等を実施しているか はい：664 いいえ：54

(2) 機械・設備及び作業方法について

- ①機械設備の点検、自主検査を定期に実施しているか はい：648 いいえ：21
 ②機械等は構造規格、安全装置等を具備しているか はい：629 いいえ：10
 ③はさまれ、巻き込まれのおそれのある箇所にカバー等があるか はい：571 いいえ：34
 ④クレーン、フォークリフト等荷役運搬機械の管理をしているか はい：580 いいえ：14
 ⑤化学設備、特定化学設備の管理をしているか はい：202 いいえ：70
 ⑥機械の修理、掃除時に運転を停止しているか はい：635 いいえ：4
 ⑦高所作業時に墜落防止措置を講じているか はい：487 いいえ：36
 ⑧その他、危険有害作業の管理をしているか はい：405 いいえ：45
 ⑨危険有害業務の安全作業マニュアルを整備しているか はい：352 いいえ：104
 ⑩腰痛予防対策を実施しているか はい：411 いいえ：214

3 リスクアセスメント及び危険予知活動等の取組及びその形骸化の防止

①リスクアセスメントを実施しているか	はい：473	いいえ：188
②危険予知、ヒヤリハット、4S活動等を実施しているか	はい：624	いいえ：60
③それぞれの取組が適切に、効果的に実施されているか	はい：547	いいえ：112
④安全衛生活動に労働者が積極的に参加しているか	はい：572	いいえ：90

4 元方事業者又は発注者（注文者）としての安全衛生管理

①作業間の連絡調整を実施しているか	はい：444	いいえ：24
②作業場所の巡視をしているか	はい：449	いいえ：22
③設備改造時等に危険・有害情報を関係請負人に提供しているか	はい：378	いいえ：44
④安全施工サイクル運動を適切に推進しているか	はい：315	いいえ：98

5 交通労働災害防止対策及びトラック荷台上からの墜落災害等の防止

①交通労働災害防止ガイドラインに基づき対策を推進しているか	はい：333	いいえ：127
②荷主は運送業者と協議の場を設置しているか	はい：338	いいえ：90
③荷主はトラック荷台上からの墜落防止設備等を設置しているか	はい：261	いいえ：147
④運送業者はドライバーに安全带、保護帽等を着用させているか	はい：348	いいえ：49

6 過重労働及びメンタルヘルス対策

①長時間労働者に面接指導等を実施しているか	はい：380	いいえ：148
②心の健康づくり計画策定等メンタルヘルス対策を進めているか	はい：379	いいえ：222

労働安全総点検結果（効果があった事項に係る事業場からの回答）

※ 回答内容は、要旨を記載し、又は簡潔な表現に変更している場合があります。また、同一内容については統一し、重複して掲載しておりません。ご了承ください。

回答項目
キーワード等
回答内容
安全管理全般
再確認・重要性・見直し
原点に戻り再確認した。
会社に必要なことが今一度確認できた。
点検で重要性を再認識
今一度安全について考えたい。
基本方針の周知、徹底が図られた。
現状の再認識
改めて点検確認
現状と検討課題の把握
安全管理の原点に戻り、行動指針の再確認が得られた。
日頃の活動の徹底
点検により改めて認識を深めた。
日頃のとりくみを確認することができた。
総点検を実施することにより再度安全確認をすることができました。
見直しができてよかった。
再認識できた。
不備な点は速やかに改善を計画実施する。
今後の努力の必要性を感じた。
改めて見直しができた。
安全衛生活動の見直しができた。
取り組みの再確認ができた
基本を忠実にをスローガンにできることから実施している。
現状以上に取り組む。
結果を改善につなげることで向上を図りたい
再確認で効果が出た。
改めての改善はないが、良い振り返りになった。
点検により改めて認識した。
改めて運用の確認ができた。
今一度見直すことができ、今後の指針とすることができた。
改めて、安全管理活動を見直すきっかけになりました。
安全衛生管理の再確認となった。
社内における安全衛生活動の内容を再確認するよいきっかけとなった。
再確認ができた。
ISOの安全衛生管理からも行っているところです。
現状において特に大きな問題点がないことの確認が出来た。
安全管理の重要性を認識できました。
点検を行う事により、安全への取組みを再認識することができた。
今回の総点検及び平成23年安特指定時の改善活動の継続により更なる効果を求めています。
点検により、安全衛生管理の重要性を改めて認識している。
日頃行っている作業に対して改めて安全の大切さを認識することができました。
震災以降取り組みが前向きに変わった
安全衛生管理について再確認ができた
特に直ちに改善すべき事項はないが、維持・改善に努める。
安全衛生活動全般につき再点検が出来た。
衛生管理における再認識し、さらなる充実に努める所存です。
この機会改善の方向に取り組んでいこうと思います。
工場の安全への取組の現状が分かりました。
現在、安全衛生に対して強化中のため、全体的に改善途中。
再確認ができ良かったと思います。
生産効率の向上と安全衛生の両輪のバランスが重要であることを各職場で再認識できた。
形骸化しないよう、取り組んでいきます。

回答項目	
キーワード等	
回答内容	<p>検証中です。</p> <p>深く掘り下げ実施することの必要性を痛感。</p> <p>改めて社内の安全衛生活動を見直すことができ、さらに従業員の意識向上に繋げることができた。</p> <p>安全を重視し、作業を二の次として取り組んでおります。</p> <p>点検したことにより見直しが図れました。</p> <p>自動車整備業のため当てはまらないところ有り。</p> <p>今後改善を検討する。</p> <p>現在の当社の安全衛生管理の現状把握ができた。</p> <p>現在行っている活動が適正であることが再認識できた。</p> <p>日々の活動の意義を再確認した</p>
管理項目・改善点	<p>不十分なものについて実施の必要性を感じた。</p> <p>「いいえ」箇所の今後の検討</p> <p>日常見逃している点の再確認</p> <p>未実施項目についての取り組み</p> <p>未実施事項の早急な改善</p> <p>改めて必要な事項が見えてきた。</p> <p>改善すべき点が明確になった。</p> <p>各項目の見直しができた。</p> <p>必要事項を確認できた。</p> <p>不明点の洗い出しができた。</p> <p>細部の充実性の必要を感じた</p> <p>手薄の項目が明確化した。</p> <p>取り組むべきこと、改善すべきことが多くあることを確認できました。</p> <p>対策がとられていない部分を再確認できた。改善を実施していく。</p> <p>取り組めていない点が明確になった。安全週間終了までに改善に着手したい。</p> <p>チェックする項目がわかったが、介護施設用のチェック項目があると良いと思われれます。</p> <p>実施されていない項目の確認が出来たことは良かった。今後、検討していきたい。</p> <p>チェックシートに基づいた点検は初めてだった為、改めてポイントを認識することが出来ました。また、点検を行ったことで、更なる予防対策につながる素案をイメージすることが出来ました。</p> <p>総点検を実施したことにより、当社の状況を確認することができ、今後、改善すべき点を知ることが出来た。</p> <p>やれていない活動が明確になり、やるべき課題が明らかになった。</p> <p>不備なものの確認が出来ました。</p> <p>安全衛生管理上の法的要件の再確認と改めて全社の現状を把握できました。</p> <p>総点検項目に照らしてみると抜けていたり、未実施事項が発見された。改めて改善に取り組みたい。</p> <p>未実施の部分は直ちに掛かりたい。</p> <p>課題点が見つかった為、本社と共有し、改善に取り組みます。</p> <p>管理すべき項目について、一覧として改めて確認することができた為。</p> <p>チェックポイントが良く分かりました。</p> <p>HPの資料が参考になった</p> <p>あやふやだった所が明確に出来た。</p> <p>ポイントの再確認</p> <p>点検表により整理ができ、問題点を改めて確認することが出来た。</p> <p>課題が明確となり、改善行動の内容が分かった。</p> <p>取り組み不足な点が明確になった。</p> <p>今回の点検の結果、不備な点が明確となり、労働災害防止のため大変役に立った。</p> <p>不備事項と適切に管理されている事項の確認が取れた。</p> <p>不具合がなかった為、自主的改善をさらに推進する。</p> <p>見落とし部分があったので改善いたします。</p> <p>日常必要と思うところは頻りに巡回していますが今回のような形の総点検は大変に有意義と感じました。</p> <p>改善点を順番づけしてクリアしている。ISO14001取得を目標に安全面、環境面の改善に取り組んでいる。</p> <p>やるべき事が理解できた。</p> <p>不適合な部分を認識する事ができた。</p> <p>点検項目が自分たちが取り組んでいるよりたくさんあって、より安全運動できるようになった。</p> <p>日々見逃しがちな点検に再認識ができ、実行に役立った。</p> <p>今回の点検表は特にありませんが、数ヶ月前に改善したものがありません。</p> <p>通常実施している内容なので特に効果があったとは言えない。</p>

回答項目
キーワード等
回答内容
現状での改善点の把握
新たに発見した改善部分について改善していく。
不十分な点の改善
トップの方針
トップの方針の必要性、いいえの項目が多くあり。改善対象である確認ができた。
経営トップから次回役員会の議題のひとつに加え、役員会で検討することとなった。
朝礼と昼礼で社長が必ず言うのは「安全に仕事をしてください」これだけで事故、ケガはゼロ。講習会でトラックの運転手が荷台から飛び降りたり転落する事故が多いと聞いたので、はしご、脚立を用意して使ってもらおうようにしている。
毎朝礼、月一度の安全会議、3か月毎の防災会議、経営トップによる安全パトロールを実施。
管理組織・運営
管理体制
管理体制の再認識・整備
安全管理体制の再確認
安全体制の見直しをした
部門間の話し合いが増え意識が高まった
職長と作業員間で意識が高まった
不具合がないことを確認した
自社の安全体制を振り返るよい機会となった。
自社の管理体制の不備の確認が出来た。
職場内の安全整備体制の確認のきっかけとなった。
以前は担当者のみで活動していましたが、最近は全員参加で安全活動に取り組んでいます。
全員参加で安全活動に取り組むようになりました。
社員全員での安全に対する考え方が良くなった。安全パトロールの実施中
安全衛生推進者、安全運転管理者、防火責任者の選定を進めている。
ISO9001マニュアル規定の中に毎日のミーティング、週一回の安全点検巡回で指摘し朝礼で発表しています。
管理責任の再確認、危険要因のチェック
衛生管理者の選任に向け調整を図りたい。
会社全体での意識計画。
安全管理体制の確認が出来た。
本点検表を通じて7月受講予定の安全衛生推進者養成講習会に関連した事項を受講前に確認することができた。点検結果を基に弊社の安全衛生活動をより良いものにするため、改善の必要性の検討を行う。
特別教育、技能講習、諸免許、定期自主検査等参考になりました。
点検表によって、定期点検等の再確認ができた。また、リスクアセスメントの導入の話し合う場ももてた。
安全衛生委員会
安全衛生委員会できとあげていない事項に「いいえ」が多く、少しずつ取り上げたい。
総点検結果を委員会で審議した
委員による積極的な改善を進めている
安全衛生に対する重要性が委員会等を通じて更なる認識が図れた。
月1回の安全衛生委員会で若手社員の発言が多くなった。
安全衛生委員会メンバーが毎月職場巡視を実施し、整理整頓や危険箇所の改善を行っており、その効果が出てきていると感じています。
労使協力
労組からの協力が得られた
労使で共通認識し改善の具体策を意見交換した
労働者側委員の巡回を実施
労働組合から協力が得られたこと。
管理者だけでなく、労働側の意識の向上につながった。
協議会(元請下請)
建屋、機械修理依頼時、請負業者に危険情報を流し、間違いを防止していく。
協議会の運営見直し
元請と一緒に進めていきたい
下請との連絡が密になった
外注先やメンタル対策の遅れがわかった
資格証及び健康診断の下請け業者も含む管理の徹底、データ化完了
外注先の安全管理(衛生)を検討する。
本社、社員及び下請け作業員ともに意識の向上が伺われた。
場内の関係会社との安全衛生管理について話し合うキッカケとなった。

回答項目
キーワード等
回答内容
点検・巡視
巡視点検による改善
点検項目について忘れていた部分があった
作業主任者の周知、管理区分掲示に不備あり取り付けした
危険有害業務について再認識した
巡回指導の中で、作業員から危険箇所・要望を聞き改善につなげています。
現場内のチェックができた
パトロールで災害防止を図っている
通常のパトロールで気付かない部分があった
定期点検の実施
点検にあたり、各部署にヒアリングを実施し、結果として従業員の安全に対する意識高揚につながった。
安全パトロールの点検項目に追加したい
周知
千葉労働局のHPより各種資料のダウンロードを行い、職員及び朝礼にて作業員へ周知できた。
朝礼、ミーティング等で周知させるようにする。問題、改善策を皆で考える。
注意喚起の表示を掲示し、見える化の推進を行った。
現場作業員への周知を行い災害ゼロを目指す
荷主・運送業者
荷役作業についての整備を行っている
固縛、シート掛け用の作業台の購入決定
運送業者との安全に対するコミュニケーションを図っていきたい
運送業者管理ならびにメンタルヘルス対策等の不備が判明した。
材料や製品搬入のトラック運転手と当社社員との役割分担が明確でなかったのが解消した。
荷台の災害について運送業者と協議していきたい
なかなか実施できなかった運送会社との連絡会を行うことができた。
荷主と運送業者との協議の場を考慮しなければならないと感じた。
安全衛生計画
計画作成した
衛生についての計画を盛り込んだ
年間計画の中身について見直していきたい
管理計画を作成した
安全管理計画は作成済みであるが、今後は衛生管理計画も同様に作成予定とする。
管理計画等、知らなかったことがあり、管理体制の見直しを進めます。
PDCA
安全レベルの向上を目指しPDCA実施
リスクアセスメント
RA実施により意識向上
今年からRA実施。
RAの実施により不安全箇所・行動が改善した
RAKY指差呼称を中心に活動を展開
RAについて推進していきたい
RAを今後計画していきたい
労働災害発生場所の設備改善、リスクアセスメント等の活動による設備改善による労働災害発生数の減少
次回のリスクアセスメント導入研修会に参加する。
リスクアセスメント、メンタルヘルス対策について再認識した。
工場全体にリスクアセスメントが徐々に浸透してきました。
リスクアセスメントをより効果的に進めるため外部講師による研修会を予定した。
6月は安全衛生委員の社員2名を労働基準協会主催のリスクアセスメント導入研修会に参加させました。労働災害未然防止活動に今後力を入れていきます。
リスクアセスメント活動や発表会を行い、危険要因の削減と安全意識の高揚がはかれた。
工事時の事前点検を充実していく
リスクアセスメントの実施により危険の先取りを実施できた。
リスクアセスメント及びメンタルヘルス対策の取組推進
リスクアセスメントとKY活動の導入から、より具体的な周知、指導が出来ます。 ミニ災防協など
リスクアセスメントの実施に向ける機会となった。
リスクアセスメントの推進、安全マニュアルの整備

回答項目	
キーワード等	回答内容
KYヒヤリハット	
	KYヒヤリハットによる危険の未然防止
	KY活動に加え、更に具体的に作業内容を指示し、安全作業を行う。
	ヒヤリハットを全社規模で再周知、内容を安全衛生委員会で集計し、RAIに活用していく予定である。
	KY活動で積極的な意見が出るようになった
	非定常作業において必ずKYを行うようになった。
	危険予知、防止形骸化を防ぐ機会になりました。
	業務中のヒヤリハット事例を全従業員で見直すきっかけとなった。
	ヒヤリハット事例が減少した。
合図・指差呼称	
	指差呼称を定着させ安全管理に役立てている
	合図確認、指差呼称について改めてしっかり実施するように改善されました。
	安全意識の向上に役立っていると思う。さらに「指差呼称」を毎日実施するようにした。
意識	
安全意識の向上	
	ひとり一人の安全衛生意識向上
	月1回安全衛生管理教育をしているが、毎週のミーティングでも安全教育を行い意識を向上させたい。
	個人・各自の意識向上
	作業者の意識向上
	各自が安全について認識する様になってきた。
	社内で横展開し意識を高めていきたい。
	取り組み意識の向上
	無災害の継続と安全への意識付けが図れた
	意識の徹底 不十分な個所の対策
	関係者の意識が強くなった
	さらなる意識向上
	改めての見直しで意識向上につながった
	個人の意識が強くなり、作業中の危機回避に役立っている。
	再認識するいい機会となった
	認識が向上してきた
	再確認ができた
	倉庫作業員全体の意識が高まった
	各人の意識向上に役立った
	意識の向上につながった
	安全意識が高まった
	改めて一つ一つ確認することで意識が高まった
	安全意識が高揚した
	製造部門の要員の安全衛生についての意識向上に役立った。また、朝礼などでの啓蒙に役立った。
	不安全行動者が減り、職場での安全を守ることができました。
	全社員の安全衛生意識の向上に役立った。
	従業員の安全に対する意識が高まった。
	従業員の個々の安全衛生管理への意識が上がり事故、ケガが減った。
	社員に対し業務上の安全への意識づけが高まった。
	全国安全週間の準備期間中に安全総点検を実施したことにより安全意識の高揚と不安全設備、不安全行動の改善につながった。
	今回総点検を行う事で特にJV若年社員と職長に安全衛生管理状況の確認を再認識させる効果があった。
	安全管理意識の向上につながった。
	安全に対する各従業員の意識が高まり、行動に出せるようになった。
	安全衛生に対する意識が高まった。
	安全管理に関する意識が高まり、本年無事故で推移。
	安全衛生活動に対し、意識が向上しました。
	今後意識を深めていきたい
	社員各自が以前より自覚するようになりました。
	全国安全週間内の行事を通じて、末端従業員レベルでの安全意識向上させます。
	安全意識の高揚がなされました。
	内容について全体集会で発表。個人の安全への意識が高まった。
	安全意識が高まった。

回答項目
キーワード等
回答内容
社員各自が安全意識をさらに深めることができた。
従業員の安全作業に対する本人の自覚が再確認された。
社員の安全衛生管理に対する認識が高まった。
社員全員に安全衛生管理の意識高揚に役立った。
安全衛生管理に対する意識が高まった。
労働災害防止への意識が向上している。
保護帽の意識、自主検査の意識に効果が出た。
整理整頓・4S・5S
場内のごみが減った 荷積みが安定した
5Sの徹底で、床に直に置いてあるものがなくなり、工場全体が明るくなった
転倒災害防止を進めて清掃を行っている
4Sデーを設け実施している
4s・5s活動の実施によって、安全面だけでなく、導線等の改善により作業効率も上がりました。
4S活動等を積極的に実施したい
5S徹底により効率・安全性が向上した
整理整頓の徹底、安全器具の着用徹底
不用・不急品の整理を行い、職場環境の改善に効果がありました。
整理整頓
作業者が積極的に整理整頓に取り組みがあった。
工場内の整理整頓が促進された。
工場内の清掃・整理を今一度行い、つまずき等の防止に役立った。
服装が良くなった。緊張感が身についた。
危険作業・有害箇所
危険箇所の特定・改善
危険箇所の見直し等を必ず実施
危険作業従事者に対する許可項目を確認した
設備の改善に間に合わない点は、作業員自身が意識して安全行動に取り組むようになった。
工場内の通路確保が整備された。
安全作業への意識が高まり、危険と思われる場所に看板を設置する等の安全対策を行った。
作業の安全性(有害性)を再確認できた。
危険箇所の再認識ができた。
ワイヤー・レバーブロック早めの修理及び交換・吊具等のトラブル0
設備整備、労働環境の整備の必要な点を再確認した。
危険有害性のある個所の特定に効果があった。
不適合な部分を認識できた。
危険個所を新たに発見した。
墜落防止
トレーラー荷台からの墜落防止の設置を行った。
荷台からの墜落防止措置の徹底
墜落防止用の作業台の購入
転落防止措置の実施
荷台からの墜落について事例の周知
転落防止チェーンの設置、フォークリフト運搬通路等のスベリ止処置を行った。
高所作業の改善と意識の向上
高所作業時の安全帯、保護帽着用の確認
トラック荷台からの墜落災害防止を推進
荷台からの墜落について一歩踏み込んだ対策ができた。
トラック荷台からの墜落防止対策の必要を感じた。
作業間の墜落防止等の安全面について運転手及び管理者も日々行っている。声掛け、指差し確認の大切さを改めて痛感しました。
転倒防止
地震対策・転倒防止、場内通路・電気設備等を毎日点検。
巻き込まれ災害防止
共同作業時、声だし運動の徹底、保護カバーの総点検実施
カバーの取り付け緩みを発見した
安全カバーの未設置箇所の減少により、より不安全箇所を撲滅することができる。
カバーについて溶接不備があり是正した

回答項目
キーワード等
回答内容
車両管理・運転・作業
ユニック車の管理 RAの充実を行う
運転手の意識が向上した
社内重機の担当者・責任が明確となり、より安全に注意するようになった。全員の保有資格を確認し、現状の把握と各自の課題を浮き彫りにした。
アルコールチェック、運行前車両点検の実施率が向上した。
交通労働災害
交通労働災害防止ガイドラインの存在、内容を知ることができた。
交通労働災害防止ガイドラインの内容の確認ができた。
交通労働災害防止で、運送業者と協議し、安全意識を高めた。
作業管理・作業改善
作業マニュアル等
2人一組の作業時の相互安全確認の重要性の再認識
マニュアルの作成を早急にしたい
安全確認・荷の置き方を見直した
マニュアルの作成や注意事項の掲示を早急にしたい
注意事項の掲示を早急にしたい
マニュアルの整備 腰痛予防対策の改善
重量物の移動に対処した
安全作業マニュアルの内容の見直しを行い、更新した。
安全作業マニュアル作りを始めた。
安全衛生管理についてのマニュアルを調査する。
始業時に安全確認の徹底を行っている。
各作業、安全衛生について見直しをすることにより全体的に意識を高め、改善の方向性に向かって各部署検討することになりました。
従業員間で安全への意識が高まり安全のための用具や道具の着用率が100%となり、また今後安全活動や安全教育の機会を設けて実施することを計画しております。
腰痛対策
腰痛について理解を深めた。新たに対策を実施する。
作業者にヒアリングを行い、職種毎に腰痛発生原因を特定し対策を検討実施する
無理な作業姿勢からの腰痛を防止を現場での朝礼や災害防止協議会で発表する。
総点検の結果、一部の職域で実施していない腰痛体操の実施、以前は活発に実施していた「ヒヤリハット」(リスクアセスメントに移行)などの再開に繋げるキッカケとなった。
メンタルヘルス
メンタルの計画が課題
心の健康づくり計画について作成中
メンタルヘルスについて注意が必要
メンタル対策の充実が課題
メンタル対策の必要性を感じた
メンタル対策を意識するようになった
心の健康づくりを進めていきたい
メンタル対策の必要を感じた
今回、講習会に参加させていただき、過重労働及びメンタルヘルス対策について検討したい。
メンタルヘルス対策について考えたい
メンタルヘルス不調者が大幅に減少してきている。
メンタルヘルスの計画策定と対策面を実施の必要性を認識した。
メンタルヘルス対策の進め方が良く分からず、課題となっている。
長時間労働は今後必要になるケースもあり、その際は必ず実施する。メンタルヘルスの必要性は十分認識しており、現在策定を予定している。
メンタルヘルス対策の不備に気づいた。
メンタルヘルスの重要性について認識不足があったと感じました。
腰痛予防及びメンタルヘルス対策の重要性を認識するとともに、特に外的要因の強いメンタルヘルス対策の実施を考える機会になった。
健康管理
作業員が各自の健康に気を配るようになってきている。
検診の後の保健指導の結果、各自が健康状態への自覚が向上した。
心身ともに健康で事故のおきないように仕事をしています。
保健衛生責任者として、全職員の健康診断を推進しています。

回答項目	
キーワード等	
回答内容	
熱中症対策	
熱中症対策を行っている	
改めて安全衛生に対して意識が高まった。7月9日に昼礼にて安全全体教育(熱中症予防)を実施予定です。	
無災害・災害減少	
無事故継続してます	
20年以上無災害です	
5年無災害なので継続していきたい。	
ゼロ災害の継続	
7月2日現在無災害通算日数3,000日(出勤日数2,291日)継続中	
約2年8ヶ月労災発生なし	
労災発生に関して、年初より種々の取組開始、前年休業1件不休1休が6月まで不休1件と重大災害の減少となり、総点検中以降災害発生はない状況。	
飛躍的に成果が上がったわけではないが、昨年に比べて事故件数が減少した。	
無災害継続中	
体調不良者がほとんど出ていない。	
労災事故が減った。	
作業時のケガがなくなっている。	
労災事故ゼロ	
10年以上災害なし。健康診断の結果は全員良好である。	
無事故	
無事故実績	
災害の減少	
期間中、労災事故ゼロ	
効果	
今後効果を期待	
まだ効果は出ていない	